



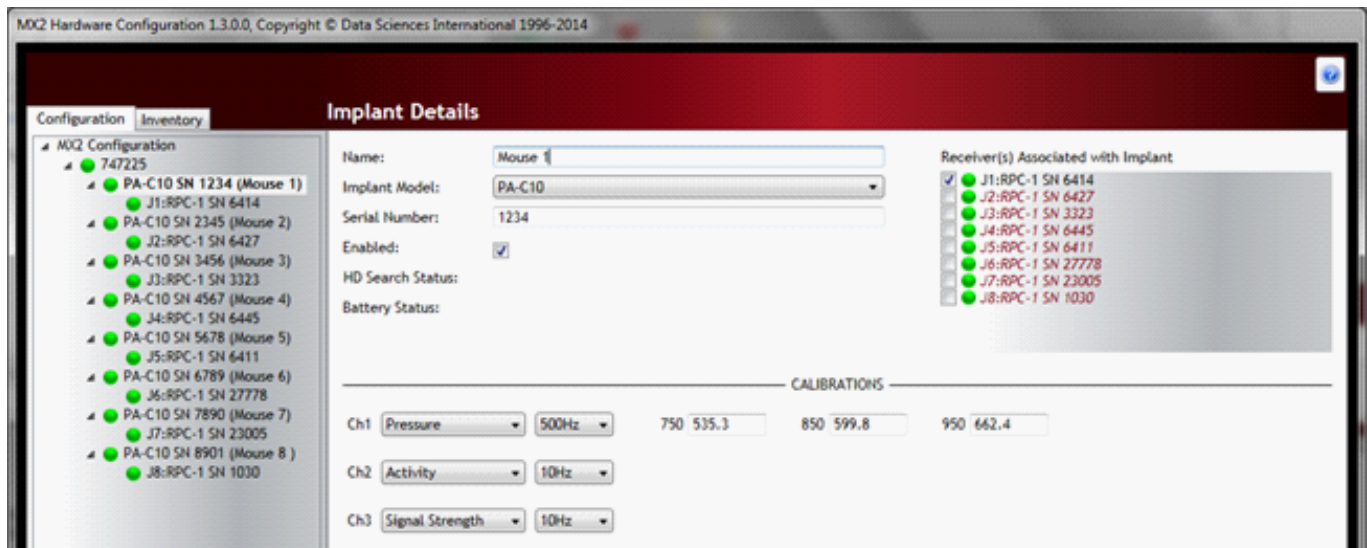
データ変換マトリックス MX2

MX2は、テレメトリー受信器とデータ取得システムPCの間に設置する構成品で、イーサネット接続式です。従来モデル(DEM)に代わる次世代デバイスとなります。



MX2特長：

- ・MX2 1台において、最大8台の埋込送信器からの同時サンプリングが可能です。
- ・ソフトウェア側でのハードウェア構成設定が、より簡便になりました。
- ・HDシリーズ送信器の利用時には、シリアル番号・バッテリーON 時間のカウント、自動校正入力の性能が利用可能です。
- ・活動量計測の利用が可能です。



△PONEMAH 6.0ソフトウェアインターフェース(送信器構成)

DEM・MX2の違いについて

	従来モデル：DEM	次世代モデル：MX2
接続可能受信ボード	RLAシリーズ、RPC-1、RMC-1等	自動認識できるタイプのみ（RPC-1、RMC-1、RSC-1）
接続枚数(1台当たり)	最大20枚	8枚
電源供給	専用DC電源	PoE付スイッチングハブより供給
PCとの接続	専用PCI/PCIe基盤	LAN（ルーター/スイッチングハブ経由）
対応ソフトウェア	Dataquest A.R.T., Notocord-hem/OpenART, Ponemah/OpenART	Ponemah 6.0, Ponemah 5.2 SP6～
アナログ出力アダプタ	R11CPA, OP-R08等	使用不可
APR-1との接続	A列へ接続	E2S-1を使用
DRA	2, 4, 8, 16枚で設定可能	1～8枚で設定可能
同時出カソース	4ソース	8ソース